



コンパス住吉台

Tel:中学校 090-9148-1396 Tel:小学校 070-1287-8026

住吉台中学校区
学校支援地域本部だより
令和5年度版

NO. 8

令和6年3月6日発行



住吉台学校運営協議会



2月13日、令和6年 第1回住吉台学校運営協議会が行われました。この協議会の任期は、12月1日～翌年11月30日の年度をまたぐ形となっており、今回は新しく加入されたメンバーの方々の初参加の場となりました。

小学校・中学校より「学校評価に関する報告」があり、昨年12月に実施されたアンケートの結果・分析等が報告されました。次に「新年度学校経営方針」の説明があり承認されました。またコンパス住吉台から提案された、これからの地域教育懇談会の開催について協議しました。学校・地域・保護者や子供たちが集える場の開催、意見を集める方法について等、活発な意見交換が行われました。

新年度も協議や授業参観、先生方との意見交換等を通して、学校・地域・家庭が抱える問題について熟議していくことを確認しました。



中学校



◆ かるた大会 ◆



1月15日、校内かるた大会が開催されました。かるた大会は中学校開校当初から続いている校内行事です。今回は4年ぶりに宮城県かるた協会の方々をお招きしての開催となりました。

最初に体育館で全校生徒が見守る中、かるた協会の方による模範試合が行われました。かるたは「畳の上の格闘技」と形容されていて、札を払う時の激しさはとて迫力があり、じっと見つめている生徒たちから驚きの声が上がりました。その後3年生は武道館、1・2年生は体育館を会場にかるた大会を行いました。どちらの会場でも、かるた協会の読手（どくしゅ）の方の音が響く中、生徒たちは真剣に札を見つめ、競技に取り組んでいました。生徒たちにとって日本の伝統文化を体験した、貴重な機会となったことでしょう。



小学校



◆ 5・6年生 ミシンボランティア ◆



12月には5年生がエプロンを、1月には6年生がミシンでトートバッグを作成しました。

家庭科室の各テーブルには2台ずつミシンが置かれ、ボランティアの方がテーブルごとにサポートしてくださいました。ミシンの学習は5・6年生合わせて計6回、毎回10名以上の方々にご協力いただき、のべ人数は70名を超えました。一つ一つの作業を丁寧に見ていただけることで、子供たちも満足いく作品が出来上がったようでした。また早く作品の出来上がった子のミシンの糸掛け作業の確認も一緒にやっていただきました。



◆ 3年生 アイラブ住吉台 ◆

2月5日、3年生は地域の10団体の方々をお招きし、それぞれの団体がいつどのようにできたのか、活動内容や活動に寄せる思いなどをインタビューしました。児童はインタビューしたことを班ごとにクロームブックでまとめ、3月14日の授業参観で発表しました。インタビューにご協力いただいた方も参観してくださり、児童の発表に熱心に聞きいっていただきました。



ご協力いただいた団体（個人）

防犯ボランティア巡視員・住吉神社・町内会・オオムラサキ会・西田中消防団
りんごの木文庫・住吉だい鼓・読み聞かせ・カブトムシボランティア・コンパス住吉台

◆ 6年生 卒業を祝う餅つき会 ◆

1月19日、PTA主催の「卒業を祝う餅つき会」が行われました。コロナ禍では、小正月行事の「だんごさし」を行っていましたが、4年ぶりにお餅を食べる形で開催することができました。でも、その間に使われなかったかまどは劣化、破損していました。餅つき会の前に、地域の佐々木政利さんが修繕してくださり、無事かまどで餅米を蒸すことができました。地域の方に蒸し作業やコネを手伝っていただき、6年生は臼でお餅をつき、つきあがったお餅を美味しく食べていました。

また、5年生のお米作りでお世話になった奥山壽さんから「だんごさし」用の大きなミズキの木をいただき、6年生はその枝に中学生になって頑張りたいことを書いて結びました。6年生は、多くの人に出会い、支えられた6年間の思い出を胸に、中学校でも頑張ってくれることでしょう。

